

令和5年度園評価

大垣市立青墓幼稚園

1. 園の保育・教育目標

生き生きと活動する子
～心豊かで元気いっぱい遊べる子～
考える子・思いやりのある子・じょうぶな子

2. 前年度園評価や幼児教育指導の方針と重点などを基にした、園経営の重点及び具体的方策

- ・げんきっこタイム（体操の時間）や戸外遊び、園外保育等を通して異年齢との関わりがもてるようにする。
- ・一人一人のよい姿を学級の中で価値づけて自信に繋げ、保育者や子ども同士が認め合える温かな関係の中で、自己発揮できるようにする。
- ・園外保育に積極的に出掛け、地域の人や歴史、自然に触れて遊べるようにする
- ・園での子どもの様子をドキュメンテーションや学年だより等で伝えながら、信頼関係を築き保護者の悩みや不安の声に耳を傾け、寄り添う。

3. 評価項目の達成状況及び取組状況

| 短期目標 | 自己評価 | 保護者評価 |
|----------------------------------|------|-------|
| (1) 保育者や友達と一緒に十分に体を動かすことを楽しむ。 | 3.6 | 3.9 |
| (2) 自分の思いを伝えて相手の思いを知る。 | 3.5 | 3.8 |
| (3) 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを楽しむ。 | 3.6 | 3.8 |
| (4) 保護者と共に子どもの育ちを支える。 | 3.5 | 3.8 |
| (5) 保育者間で学び合いながら、保育の質の向上を図る。 | 3.5 | |
| (6) 自分の体や命を守る為に危機管理能力が身に付くようにする。 | 3.4 | 3.4 |

4. 自己評価結果の概要

- ・戸外遊びや園外保育を通して、異年齢の友達と関わる機会をつくることができた。年間を通して交流できるように職員間で話し合い、思いやりの気持ちを育てたり、お互いに刺激し合ったりできる環境をつくっていききたい。
- ・子ども達の成長した姿を登降園の際に保護者に口頭で伝えるだけでなく、ドキュメンテーションを掲示し、視覚的にも様子を伝えることができた。さらに活動のねらいや意図も加え、生活や遊びの様子を分かりやすく伝えていきたい。
- ・保育者間で保育について話しやすい関係が築けていることで、良かったことや改善点等を日々の保育の中で伝え合い、次へと繋げていくことができた。今後も、保育を見合い意見交流をし、資質向上を図っていききたい。

5. 保護者による評価及び意見の概要

- ・季節に合った外遊びや製作を行っていて良い。寒い季節でもドッジボールやかけっこ等で外遊びをする姿があり、のびのびと遊んでいる。
- ・先生が先回りして助言せず、子どもに自分で考え、やってみる時間を与えていることが良い。
- ・挨拶ウィークや生活リズムカード等、親子で取り組めるものは目標をもって過ごせるので良い。

6. 関係者による評価及び意見の概要

- ・どの子どもも保育者に挨拶をする様子が印象的である。
- ・子ども達がのびのびしており、安心して遊んだり、学んだりすることができている。その陰には保育者の支援や準備があると感じる。保育者の優しく寄り添う姿や、はつらつとした声と笑顔で、子ども達が元気になっている。
- ・保護者評価もとても高い。保護者との連携がとれており、保育者の発信力やコミュニケーション力を感じた。

7. 次年度に向けて

- ・異年齢交流のあり方を職員間で話し合い、思いやりの気持ちを育てたり、お互いに刺激し合ったりできる環境をつくる。
- ・ドキュメンテーションの内容に活動のねらいや意図も加え、保護者に子どもの生活や遊びの様子を分かりやすく伝える工夫をする。
- ・全職員で保育を見合い意見交流をし、資質向上を図る。